

令和 6 年度墨田区介護保険事業運営協議会委員名簿

(令和 7 年 2 月 1 日現在)

区 分	氏 名	所 属・役 職
学識経験者	和 気 康 太	明治学院大学
	鏡 論	法政大学大学院
	成 玉 恵	千葉県立保健医療大学
医療保健関係者	山 室 学	墨田区医師会
	岩 崎 洋 子	東京都本所歯科医師会
	難 波 幸 一	東京都向島歯科医師会
	浅 尾 一 夫	墨田区薬剤師会
	堀 田 富士子	東京都リハビリテーション病院
福祉関係者	鎌 形 由美子	墨田区民生委員・児童委員協議会
	大 滝 信 一	墨田区社会福祉事業団
	前 田 恵 子	墨田区社会福祉協議会
区内関係団体	安 藤 朝 規	弁護士（墨田区法律相談員）
	庄 司 道 子	墨田区障害者団体連合会
	星 野 喜 生	墨田区老人クラブ連合会
	多 賀 康 之	町会・自治会
介護事業関係者	濱 田 康 子	すみだケアマネジャー連絡会
	小 谷 庸 夫	墨田区訪問介護事業者連絡会
	丹 沢 正 伸	墨田区特別養護老人ホーム施設長会
	梶 本 守 康	グループホーム等管理者連絡会
区民代表	村 山 厚 子	介護保険被保険者
	福 島 洋 子	介護保険被保険者
	米 川 京 子	介護保険被保険者
行政代表	杉 下 由 行	墨田区保健衛生担当部長
	岩 瀬 均	墨田区教育委員会事務局次長
	浮 田 康 宏	墨田区福祉保健部長

第9期介護保険事業実績(令和6年度4月～9月)

1. 人口及び高齢者人口

区 分	令和6年度計画値(10月1日時点)	令和6年10月1日現在
総人口	285,237人	287,445人
高齢者人口	60,284人	59,484人
65歳～74歳	25,887人	25,044人
75歳以上	35,397人	34,440人
高齢化率	21.1%	20.7%
後期高齢化率	12.4%	12.0%

2. 被保険者数

区 分	令和6年度計画値(10月1日時点)	令和6年10月1日現在
第1号被保険者数	61,152人	60,313人
65歳～74歳	26,040人	25,165人
75歳以上	35,112人	35,148人
第2号被保険者数	96,963人	96,217人

3. 要支援・要介護認定者数

区 分	令和6年度計画値(10月1日時点)	令和6年9月30日現在
第1号被保険者	12,573人	12,721人
要支援1	1,829人	1,752人
要支援2	1,344人	1,541人
要介護1	2,917人	2,816人
要介護2	1,815人	2,022人
要介護3	1,597人	1,688人
要介護4	1,796人	1,672人
要介護5	1,275人	1,230人
第2号被保険者	303人	289人
要支援1	26人	27人
要支援2	48人	41人
要介護1	62人	52人
要介護2	56人	55人
要介護3	35人	33人
要介護4	48人	47人
要介護5	28人	34人
合 計	12,876人	13,010人

4. 居宅サービス量

区 分	介護予防サービス			介護サービス		
	計画値	実績値	計画対比	計画値	実績値	計画対比
訪問介護	0 人/月	0 人/月	—	2,740 人/月	2,975 人/月	108.6%
訪問入浴介護	2 人/月	0 人/月	0.0%	248 人/月	259 人/月	104.4%
訪問看護	326 人/月	376 人/月	115.3%	1,994 人/月	2,092 人/月	104.9%
訪問リハビリテーション	56 人/月	71 人/月	126.8%	305 人/月	289 人/月	94.8%
居宅療養管理指導	237 人/月	437 人/月	184.4%	3,169 人/月	6,274 人/月	198.0%
通所介護	0 人/月	0 人/月	—	2,194 人/月	2,470 人/月	112.6%
通所リハビリテーション	56 人/月	63 人/月	112.5%	349 人/月	367 人/月	105.2%
短期入所生活介護	3 人/月	7 人/月	233.3%	358 人/月	348 人/月	97.2%
短期入所療養介護	0 人/月	0 人/月	—	35 人/月	49 人/月	140.0%
特定施設入居者生活介護	61 人/月	62 人/月	101.6%	677 人/月	693 人/月	102.4%
福祉用具貸与	862 人/月	977 人/月	113.3%	4,166 人/月	4,454 人/月	106.9%
特定福祉用具販売	21 人/月	19 人/月	90.5%	70 人/月	66 人/月	94.3%
住宅改修費の支給	21 人/月	17 人/月	81.0%	49 人/月	46 人/月	93.9%
居宅介護支援	1,163 人/月	1,272 人/月	109.4%	5,862 人/月	5,898 人/月	100.6%

※実績値は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の平均である。

※介護予防通所介護は過誤再請求による実績である。

5. 地域密着型サービス量

区 分	介護予防サービス			介護サービス		
	計画値	実績値	計画対比	計画値	実績値	計画対比
認知症対応型通所介護	0 人/月	1 人/月	—	172 人/月	146 人/月	84.9%
小規模多機能型居宅介護	0 人/月	3 人/月	—	126 人/月	140 人/月	111.1%
認知症対応型共同生活介護 （認知症高齢者グループホーム）	0 人/月	1 人/月	—	333 人/月	325 人/月	97.6%
地域密着型特定施設入居者 生活介護	0 人/月	0 人/月	—	20 人/月	20 人/月	100.0%
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	0 人/月	0 人/月	—	27 人/月	33 人/月	122.2%
看護小規模多機能型居宅介護	0 人/月	0 人/月	—	17 人/月	16 人/月	94.1%
地域密着型通所介護	0 人/月	0 人/月	—	1,124 人/月	1,173 人/月	104.4%
地域密着型介護老人福祉施設 入居者生活介護	0 人/月	0 人/月	—	0 人/月	0 人/月	#DIV/O!

※実績値は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の平均である。

6. 施設サービス量

区 分	計画値	実績値	計画対比
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	1,083 人/月	1050 人/月	97.0%
介護老人保健施設	533 人/月	508 人/月	95.3%
介護療養型医療施設	0 人/月	0 人/月	#DIV/O!
介護医療院	18 人/月	20 人/月	111.1%

※実績値は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の平均である。

※介護療養型医療施設は、令和6年3月末に完全廃止となった。

7. 介護予防・日常生活支援総合事業サービス量

区 分	計画値	実績値	計画対比
通所型サービス（従前）	1,142 件/月	1130 件/月	98.9%
通所型サービスA	4 件/月	2 件/月	50.0%
訪問型サービス（従前）	825 件/月	770 件/月	93.3%
訪問型サービスB	27 件/月	27.7 件/月	102.6%

※実績値は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の平均である。

短期集中予防サービス

区 分	計画値	実績値	計画対比
通所型サービスC	323 件/年	239 件/年	74.0%
訪問型サービスC	146 件/年	12 件/年	8.2%

※計画値は、年間延べ件数を記載（3～6か月の期間で実施する事業のため）

※実績値は、令和6年4月～9月サービス利用延べ件数である。

8. 介護保険給付費実績

〈介護予防サービス〉

区 分	計画値	実績額	計画対比
介護予防サービス			
介護予防訪問介護	0千円	-	—
介護予防訪問入浴介護	715千円	0千円	0.0%
介護予防訪問看護	122,301千円	71,407千円	58.4%
介護予防訪問リハビリテーション	20,689千円	14,555千円	70.4%
介護予防居宅療養管理指導	32,577千円	18,593千円	57.1%
介護予防通所介護	0千円	0千円	—
介護予防通所リハビリテーション	23,088千円	13,139千円	56.9%
介護予防短期入所生活介護	1,013千円	1,334千円	131.7%
介護予防短期入所療養介護	0千円	0千円	—
介護予防特定施設入居者生活介護	54,766千円	28,292千円	51.7%
介護予防福祉用具貸与	59,044千円	32,234千円	54.6%
特定介護予防福祉用具販売	8,026千円	3,040千円	37.9%
地域密着型介護予防サービス			
介護予防認知症対応型通所介護	1,384千円	383千円	27.7%
介護予防小規模多機能型居宅介護	2,769千円	820千円	29.6%
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,756千円	1,313千円	47.6%
住宅改修	20,655千円	8,928千円	43.2%
介護予防支援	76,071千円	40,018千円	52.6%
合 計 (I)	425,854千円	234,056千円	55.0%

※計画値は、年間の総計である。

※実績額は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の総計である。

※介護予防通所介護は過誤再請求による実績である。

<介護サービス>

区 分	計画値	実績額	計画対比
居宅サービス			
訪問介護	2,866,407千円	1,413,405千円	49.3%
訪問入浴介護	194,547千円	103,644千円	53.3%
訪問看護	1,322,074千円	673,061千円	50.9%
訪問リハビリテーション	168,454千円	84,684千円	50.3%
居宅療養管理指導	542,249千円	286,335千円	52.8%
通所介護	2,132,342千円	1,097,267千円	51.5%
通所リハビリテーション	336,120千円	169,632千円	50.5%
短期入所生活介護	384,542千円	173,590千円	45.1%
短期入所療養介護（老健）	40,576千円	29,668千円	73.1%
特定施設入居者生活介護	1,707,073千円	853,637千円	50.0%
福祉用具貸与	750,041千円	379,360千円	50.6%
特定福祉用具販売	31,279千円	13,853千円	44.3%
地域密着型サービス			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	66,633千円	36,467千円	54.7%
認知症対応型通所介護	212,041千円	89,773千円	42.3%
小規模多機能型居宅介護	339,580千円	184,321千円	54.3%
認知症対応型共同生活介護 （認知症高齢者グループホーム）	1,134,042千円	545,396千円	48.1%
地域密着型特定施設入居者生活介護	49,943千円	25,841千円	51.7%
看護小規模多機能型居宅介護	77,085千円	32,020千円	41.5%
地域密着型通所介護	937,256千円	452,075千円	48.2%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0千円	0千円	
住宅改修	44,832千円	21,699千円	48.4%
居宅介護支援	1,132,554千円	567,668千円	50.1%
施設サービス			
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	3,682,491千円	1,803,942千円	49.0%
介護老人保健施設	1,934,857千円	916,835千円	47.4%
介護療養型医療施設	-	-	-
介護医療院	90,319千円	48,381千円	53.6%
合 計（Ⅱ）	20,177,337千円	10,002,554千円	49.6%

※計画値は、年間の総計である。

※実績額は、令和4年3月～8月サービス利用分（令和4年4月～9月審査分）の総計である。

※介護療養型医療施設は、令和6年3月末に完全廃止となった。

介護保険給付費（Ⅲ）＝（Ⅰ）＋（Ⅱ）	20,603,191千円	10,236,610千円	49.7%
---------------------------	---------------------	---------------------	--------------

9. 標準給付費

区 分	計画値	実績額	計画対比
介護保険給付費（5ページ参照）	20,603,191千円	10,236,610千円	49.7%
特定入所者介護サービス費（※1）	438,722千円	174,187千円	39.7%
高額介護サービス費（※2）	634,829千円	303,799千円	47.9%
高額医療合算介護サービス費（※3）	82,060千円	85,301千円	103.9%
審査支払手数料（※4）	23,224千円	12,029千円	51.8%

標準給付費	22,928,091千円	10,811,926千円	47.2%
--------------	---------------------	---------------------	--------------

※計画値は、年間の総計である。

※実績額は、令和6年3月～8月サービス利用分（令和6年4月～9月審査分）の総計である。

※端数処理の関係で、表中の数値を合算しても合計とは一致しない場合がある。

（※1）特定入所者介護サービス費 … 低所得の要介護者が、介護保険施設サービス等を利用する際に軽減された、食費・居住費を補足する給付費

（※2）高額介護サービス費 … 1か月間に支払った介護保険利用者負担額が、一定の上限額を超えた場合に払い戻される給付費

（※3）高額医療合算介護サービス費 … 介護保険と医療保険の両方の利用者負担を、年間で合算して高額になった場合に、一定の上限額を超えた分が支給される給付費

（※4）審査支払手数料 … 介護報酬の審査・支払の事務処理に係る手数料

10. 地域支援事業費

（介護保険課分のみ入力）

区 分	計画値	実績額	計画対比
介護予防・日常生活支援総合事業費	717,125千円	296,983千円	41.4%
包括的支援事業・任意事業費	428,941千円	198,283千円	46.2%

地域支援事業費	1,146,066千円	495,266千円	43.2%
----------------	--------------------	------------------	--------------

※計画値は、年間の総計である。

※実績額は、令和6年9月30日現在の支出済額の総計である。

※実績額は、一般会計の包括的支援体制整備事業の地域支援事業費相当分を含む。

(参考) 令和6年度 介護保険給付費見込額

〈介護予防サービス〉

区 分	計画値	給付見込額
介護予防サービス		
介護予防訪問介護	0千円	0千円
介護予防訪問入浴介護	715千円	0千円
介護予防訪問看護	122,301千円	141,682千円
介護予防訪問リハビリテーション	20,689千円	29,750千円
介護予防居宅療養管理指導	32,577千円	37,990千円
介護予防通所介護	0千円	0千円
介護予防通所リハビリテーション	23,088千円	26,082千円
介護予防短期入所生活介護	1,013千円	3,469千円
介護予防短期入所療養介護	0千円	40千円
介護予防特定施設入居者生活介護	54,766千円	56,028千円
介護予防福祉用具貸与	59,044千円	65,334千円
特定介護予防福祉用具販売	8,026千円	6,500千円
地域密着型介護予防サービス		
介護予防認知症対応型通所介護	1,384千円	935千円
介護予防小規模多機能型居宅介護	2,769千円	1,672千円
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,756千円	3,004千円
住宅改修	20,655千円	18,116千円
介護予防支援	76,071千円	79,855千円
合 計 (I)	425,854千円	470,457千円

※令和6年度の給付見込額は、令和6年4月審査分～9月審査分の給付実績の平均月額を算出し、12か月を乗じた。

〈介護サービス〉

区 分	計画値	給付見込額
居宅サービス		
訪問介護	2,866,407千円	2,818,081千円
訪問入浴介護	194,547千円	202,655千円
訪問看護	1,322,074千円	1,352,630千円
訪問リハビリテーション	168,454千円	169,692千円
居宅療養管理指導	542,249千円	582,095千円
通所介護	2,132,342千円	2,190,707千円
通所リハビリテーション	336,120千円	344,073千円
短期入所生活介護	384,542千円	351,714千円
短期入所療養介護（老健）	40,576千円	61,421千円
特定施設入居者生活介護	1,707,073千円	1,731,384千円
福祉用具貸与	750,041千円	761,731千円
特定福祉用具販売	31,279千円	30,000千円
地域密着型サービス		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	66,633千円	79,245千円
認知症対応型通所介護	212,041千円	181,463千円
小規模多機能型居宅介護	339,580千円	369,329千円
認知症対応型共同生活介護 （認知症高齢者グループホーム）	1,134,042千円	1,099,772千円
地域密着型特定施設入居者生活介護	49,943千円	53,093千円
看護小規模多機能型居宅介護	77,085千円	66,873千円
地域密着型通所介護	937,256千円	910,561千円
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0千円	0千円
住宅改修	44,832千円	40,993千円
居宅介護支援	1,132,554千円	1,141,952千円
施設サービス		
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	3,682,491千円	3,635,719千円
介護老人保健施設	1,934,857千円	1,855,103千円
介護療養型医療施設		
介護医療院	90,319千円	94,803千円
合 計 （Ⅱ）	20,177,337千円	20,125,089千円

※令和6年度の給付見込額は、令和6年4月審査分～9月審査分の給付実績の平均月額を算出し、12か月を乗じた。

介護保険給付費（Ⅲ）＝（Ⅰ）＋（Ⅱ）	20,603,191千円	20,595,546千円
---------------------------	---------------------	---------------------

すみだ 介護のおしごと相談・面接会 事業報告

1. 開催主旨

介護人材の高齢化、他職種への流出が懸念される中、墨田区の地域包括ケアシステムを構築していく上で、介護人材は不可欠な社会基盤であり、その確保は最重要課題となっている。

そこで、幅広く介護人材を募り、介護保険制度の維持継続を図る必要があるため、区内及び近隣地域から広く介護人材の確保を支援する。

※令和6年度から事業名を変更した。

2. 開催日時

令和6年11月6日（木） 13時から16時30分まで

3. 開催場所

すみだリバーサイドホール・イベントホール（墨田区役所2階）

4. 開催内容

介護の仕事経験がない方等に向けた介護の仕事についての講演

介護事業者ごとに面接ブースを設け、介護職に関心のある方と個別に行う相談・説明会

5. 実施主体

墨田区とハローワーク墨田の共催事業

6. 対象

介護の仕事に関心がある方及び就労希望者、介護職員を募集する区内の法人

7. 参加費

無料

8. 参加事業所

墨田区内の介護事業者 25法人

【種別】介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、通所介護、訪問介護、居宅介護支援、認知症共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、短期入所生活介護（ショートステイ）、サービス付高齢者向け住宅、特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）等

9. 実施結果

（1）参加者 64名 [各法人説明会へ参加した者の合計 69名（延べ人数）]

（2）採用内定者 7名 （※1月22日現在）

すみだ介護に関する入門的研修 事業実施報告

1. 開催主旨

主に介護の仕事の未経験者が、介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができるよう研修を実施している。

また研修により、介護業務に携わる上での不安を払拭するよう図り、介護分野への参入の機会を作ることで、多様な人材の参入を促進し、区内介護事業者への就労につなげていく。

2. 開催日時

今年から「事前説明会」及び「フォローアップセミナー」を実施した。

- (1) 第1期(事前説明会) 令和6年10月2日(水) 10時～11時
(研修実施) 令和6年10月15日(火) から10月17日(木) 10時～12時
- (2) 第2期(事前説明会) 令和6年11月12日(火) 10時～11時
(研修実施) 令和6年11月26日(火) から11月28日(木) 10時～12時
- (3) フォローアップセミナー 令和7年1月28日(火) 10時～12時

3. 開催場所

すみだ生涯学習センター(墨田区東向島2-38-7)

4. 事業内容

- ・介護の基本、生活援助の基本、介護における安全確保等介護に関する基礎知識を講義形式で実施
- ・事業に参加し、介護職場への就労を希望する方には、就労先の案内やマッチングを行い、就労後の相談にも対応している。

5. 実施主体(※委託契約)

株式会社ツクイスタッフ(千代田区内神田3-23-5)

6. 対象

介護の仕事に関心がある方(有資格者であっても応募は可能)

7. 参加費

無料

8. 実施結果

- (1) 参加者(修了証授与者) 42名(第1期19名、第2期23名)
- (2) 採用内定者 3名(※2月21日現在)

令和7年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等について

1 目的

厚生労働省が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査手法等に基づき、墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画（令和9～11年度）策定に向けた基礎資料を得ることを目的に実施する。

2 調査概要

(1) 実施調査

ア 墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

イ 墨田区在宅介護実態調査

ウ （仮称）墨田区介護サービス事業所・施設等人材実態調査

各調査の詳細及び実施の方向性については資料4のとおり

(2) 実施時期

令和7年10月頃

(3) 調査等業務委託

各調査の設計、実施、集計、分析及び報告書作成について、専門的な知識があり、かつ統計的な処理にも対応できる業者に業務委託する。

3 業者選定方法

企画提案(プロポーザル)から書類審査及びプレゼンテーション審査により業者を選考する。

4 スケジュール

項目	4月～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	調査設計	第1回 運協報告	印刷封入 封緘	実施 督促 コールセンター	入力 集計	分析 第2回 運協報告			
在宅介護実態調査	調査設計	第1回 運協報告	印刷封入 封緘	実施 督促 コールセンター	入力 集計	分析 第2回 運協報告			
介護サービス事業所・施設等人材実態調査	調査設計	第1回 運協報告	印刷封入 封緘	実施 督促 コールセンター	入力 集計	分析 第2回 運協報告			
調査報告書作成							報告書作成	印刷 納品	第3回 運協報告

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の方向性について

(墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的:「墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し地域の抱える課題を特定するとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の評価等に活用する。
期間:令和7年10月頃からおおむね2週間 (国の方針が秋に示されることになっているため、実施時期は変更する場合がある。)
対象:要介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者から無作為抽出した 4,000 人 8つの高齢者支援総合センターの担当地域ごとに各 500 人を抽出する。 【500 人の内訳】要支援・要介護認定なし:470 人、要支援1:15 人、要支援2:15 人 (国の方針によって対象者を変更することがある。)
方向性:令和4年度に実施した本調査の区独自質問については、墨田区地域ケア会議等による地域課題を踏まえ、調査目的に合致し、次期計画策定に必要な項目に関するものを精査し、回答者の負担軽減及び回収率の向上を図る。また、「認知症施策推進計画」を一体として策定することを目指し、国の「認知症施策推進基本計画」で示された重点目標におけるアウトカム指標に対応した質問項目を追加する。
2 在宅介護実態調査
目的:「墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討に資する基礎資料を得る。
期間:令和7年10月頃からおおむね2週間 (国の方針が秋に示されることになっているため、実施時期は変更する場合がある。)
対象:要支援・要介護認定を受けている者のうち、令和7年6月以降に要介護認定調査を受けた者から無作為抽出を行った 1,200 人(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答対象者は除く)
方向性:令和4年度に実施した本調査の区独自質問については、調査目的に合致し、第 9 期計画の事業評価及び次期計画策定に必要な項目に関するものを精査し、回答者の負担軽減及び回収率の向上を図る。また、「認知症施策推進計画」を一体として策定することを目指し、国の「認知症施策推進基本計画」で示された重点目標におけるアウトカム指標に対応した質問項目を追加する。

3 (仮称)介護サービス事業所・施設等人材実態調査
目的:「墨田区高齢者福祉総合計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、区内の介護人材のサービス提供の実態を把握し、職員の確保・定着、育成、業務改善に必要な取組等を検討に資する基礎資料を得る。
期間:令和7年10月頃からおおむね2週間 (国の方針が秋に示されることになっているため、実施時期は変更する場合がある。)
対象:区内全介護サービス事業所、施設 約360か所
方向性:厚生労働省が推奨する「介護人材実態調査」を基に、令和4年度に実施した「介護サービス事業所調査」で設定した質問の一部を区独自質問として組み込む。区独自質問については、調査目的に合致し、第9期計画の事業評価及び次期計画策定に必要な項目に関するものを精査し、回答者の負担軽減及び回収率の向上を図る。なお、第9期計画の施策「3 医療と介護の連携強化」における重点推進事業「医療・介護関係者連携推進事業」の活動指標「墨田区標準様式情報シートの活用状況」について、同指標の算定に当たり、調査対象を介護事業所としていることから、次期計画策定に向け、前回調査と同様の設問を設ける。

4 各調査における質問数・回収率の推移

○質問数推移	H28年度質問数	R元年度質問数	R4年度質問数
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	110	109	117
国質問	62	64	64
区独自質問	48	45	53
在宅介護実態調査	23	28	30
国質問	19	19	19
区独自質問	4	9	11
介護サービス事業所調査	18	24	31

○回収率推移	H28年度回収率	R元年度回収率	R4年度回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	81.6%	67.7%	60.0%
在宅介護実態調査	61.7%	63.8%	55.8%
介護サービス事業所調査	70.3%	82.4%	69.8%

令和6年4月給付実績に基づく特養入所者（入所申請時の墨田区内・外別）状況

入所申請時居住地 (申請率)	入所先（従来型）個室		入所先（従来型）多床室		入所先（ユニット型）		入所先合計（申請率）	
	区内床数 49床		区内床数 461床		区内床数 378床		区内床数 888床	
墨田区内 (98.43%)	区内特養 従来型個室 44人		区内特養 多床室 445人		区内特養 ユニット型 322人		区内特養 811人 (90.61%)	
	区外特養 従来型個室 10人		区外特養 多床室 56人		区外特養 ユニット型 4人		区外特養 (※) 70人 (7.82%)	
墨田区外 (1.57%)	区内特養 従来型個室 1人		区内特養 多床室 5人		区内特養 ユニット型 5人		区内特養 11人 (1.23%)	
	区外特養 従来型個室 0人		区外特養 多床室 3人		区外特養 ユニット型 0人		区外特養 (※) 3人 (0.34%)	

墨田区へ申請せず (優先床のない墨田 区外の特養入所)	入所前 住所 区内	区外特養 従来型個室 14人	区外特養 多床室 35人	区外特養 ユニット型 74人	区外特養 123人
	入所前 住所 区外	区外特養 従来型個室 2人	区外特養 多床室 3人	区外特養 ユニット型 11人	区外特養 16人

合計	71人	547人	416人	1,034人
----	-----	------	------	--------

(※) 当区被保険者の優先床のある施設（13施設）

令和 6 年度第 1 回墨田区地域包括支援センター運営協議会議事要旨

■日 時：令和 6 年 8 月 1 9 日（月） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 4 0 分まで

■場 所：墨田区役所 1 2 階 1 2 1 会議室（オンライン同時開催）

■出席者（敬称略）

委員：鏡諭、成玉恵、山室学、岩崎洋子、難波幸一、浅尾一夫、堀田富士子、霧島貴弘、鎌形由美子、前田恵子、濱田康子、小谷庸夫、村山厚子、福島洋子、米川京子、浮田康宏
事務局その他：高齢者福祉課長、福祉保健部副参事（地域包括ケア推進担当）、介護保険課長、介護保険課主査、高齢者福祉課係長・主査 6 名、高齢者支援総合センター 9 名

■議 事

1 会長・副会長の選出

墨田区地域包括支援センター運営協議会に関する要綱に基づき、委員の互選により鏡委員が会長として選任された。また、副会長は鏡会長の指名により成委員が推薦され、本人の賛同のもと就任した。

2 令和 5 年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業報告について

事務局が資料 3「第 8 期（令和 3 年度～5 年度）墨田区高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業実施方針による取組実績」、資料 4「令和 5 年度包括的支援事業に係る高齢者支援総合センター職員配置基準」、資料 5「各高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業計画・報告書」を用いて、第 8 期における区全体（全圏域の合計）の傾向及び実績件数について報告を行った。続いて、各高齢者支援総合センター（以下、「センター」という。）が、資料 5 を用いて令和 5 年度の事業報告を行った。

3 その他

事務局から、今年度の本協議会の実施回数及び実施方法について提案し、次のとおり了承を得た。今年度の実施回数は 2 回とし、次回は令和 7 年 3 月頃の開催。開催方法は原則対面とリモートによるハイブリット開催。

■主な発言等

1 会長・副会長の選出

質疑応答なし。

2 令和 5 年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業報告について

（意見）権利擁護業務において、成年後見区長申立件数が増加しているようである。成年後見の申立ては本来 4 親等親族が申立できるが、親族が行えないため区が申立をするということであると思う。こういった内容の人が申請に至っているのか類型化し報告いただきたい。

（意見）実態把握件数が減少している状況であると思うが、在宅で生活している認知症の方の支援や発見は重要であり、訪問して実態を把握することが大切である。近隣や関係者等から

情報が入った時にすぐに動ける体制が必要である。減少の理由の一つとして調査方法の変更が挙げられたが、調査を拡大すべきであると思う。

(意見) セルフネグレクトのような状態が増えてきている。本人は問題ないと思っているが、支援者側からすると問題のあるケースがある。また、家族や身寄りがいないという問題が増えている。拒否されないように手を尽くし関係性を作りながら介入しても、拒まれてしまうこともある。こういった問題に対して地域で支えていくことが大切になってきている。

(回答) セルフネグレクトは非常に増えている。また、地域の方からの通報も増えている。臭いやゴミのような表側に顕在する場合でなく、外側には大きな影響が出ないケースに支援が必要なことが増えており、区としても重要視している。

1つの部署では解決できない、複雑化・複合化した問題を抱える方を支援する事業として、区では重層的支援体制整備事業を実施している。様々な部門の職員が集まり、支援の在り方について検討する会議体であり、セルフネグレクトの方の事例に対しても検討を行っている。

(意見) 事例に応じての対応となり、一律の対応方法はないと思う。事例は非常に重要なテーマになると思い、蓄積することが重要である。対応したことを共有化できるように考えていただきたい。

(意見) 同愛センターの発表にあったウォーキングマップは非常によいものだと思う。ホームページ等でダウンロードできるようにすることで、同愛圏域以外の方でも利用できるようになると思う。

区で実施している在宅リハビリテーション支援事業は、東京都リハビリテーション病院が事務局として中心に行っている。センターとも連携していきたいと思っており、本事業を活用していただきたい。

(質問) 機能強化担当の報告書にある、「カスタマーハラスメントの利用者であっても対応できる体制づくり」とはどのようなものか。

(回答) その人がその人らしくすべての区民が包括的継続的ケアマネジメントを受けることを目的に、2つの体制をとっている。1つ目は、特性のある利用者へのサービス提供を中断させないこと。2つ目は、過剰な要求はサービス提供者やケアマネを心身ともに追い詰めてしまう傾向があることから、「サービス提供者やケアマネを孤立させない」をかかげ、チームケアで利用者の対応に当たり、連携体制を確立するための体制づくりに努めている。

(意見) センターの発表では、これまでの研修やセンター内で勉強した成果があらわれていた。これは機能強化担当が企画した職員専門研修の大きな成果である。しかし、報告にあったとおりアウトカム指標を設定することは難しい。また、個別のコンサルテーションは非常に重要であると思う。個別のコンサルテーションが必要なセンターがあればいつでもお声がけいただきたい。

3 その他

質疑応答なし

第1回墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会議事要旨

1 日時 令和6年9月26日（木）午後1時30分から（午後2時45分終了）

2 場所 区役所12階 122会議室（ハイブリット形式により開催）

3 議事次第

- （1）委員紹介【資料1】
- （2）地域密着型サービス運営委員会委員長及び副委員長の選出
- （3）地域密着型サービス運営委員会の役割等について【資料2・3】
- （4）地域密着型サービス事業所の整備状況等について【資料4】
- （5）第9期事業計画における地域密着型サービス施設整備について【資料5】
- （6）令和6年度地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について【資料6】

4 配布資料

- 【資料1】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会委員名簿
- 【資料2-1】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会に関する要綱
- 【資料2-2】 墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会の役割
- 【資料2-3】 地域密着型サービス運営委員会の意見聴取及び施設開設までの流れ
- 【資料3】 令和6年度墨田区介護保険地域密着型サービス運営委員会開催予定
- 【資料4-1】 地域密着型サービス事業所整備状況
- 【資料4-2】 新規指定事業所について
- 【資料4-3】 地域密着型サービス利用実績について
- 【資料5】 第9期介護保険事業計画における地域密着型サービス施設整備の考え方
- 【資料6】 令和6年度報酬改定における主な改定事項について（地域密着型サービス）
- 【資料7】 令和5年度第2回墨田区地域密着型サービス運営委員会議事要旨

5 出欠席者（委員）

氏 名	所 属 等	出欠	参加方法
◎ 鏡 諭	法政大学大学院	出	オンライン
山室 学	墨田区医師会	出	オンライン
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院	欠	—
○ 濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会	出	オンライン
小谷 庸夫	墨田区訪問介護事業者連絡会	出	会場
梶本 守康	グループホーム等管理者連絡会	欠	—
村山 厚子	介護保険被保険者	出	オンライン
福島 洋子	介護保険被保険者	出	オンライン
米川 京子	介護保険被保険者	出	会場
浮田 康宏	墨田区福祉保健部長	出	会場

◎ 委員長 ○ 副委員長

出席者（事務局）	島田	介護保険課長
	田中	介護保険課管理・計画担当主査
	立野	介護保険課給付・事業者担当主査
	中村	介護保険課給付・事業者担当主査
	坂下	介護保険課給付・事業者担当主査
	田中	介護保険課管理・計画担当主事
	大森	介護保険課管理・計画担当主事

6 議事内容

（１）委員紹介

委員の改選で１０名が就任。継続委員８名、新委員２名について紹介を行った。また、本日２名が欠席である旨、報告があった。

（２）地域密着型サービス運営委員会委員長及び副委員長の選出

委員会設置要綱第５条２項に基づき委員長の選出を行った。委員の互選により鏡委員が委員長に選任された。

副委員長については、鏡委員長の指名により濱田委員が就任した。

（３）地域密着型サービス運営委員会の役割等について

事務局から【資料２・３】に基づき、地域密着型サービス運営委員会の役割及び年間開催予定について説明があった。次回委員会については令和７年１月下旬に開催予定。

（４）地域密着型サービス事業所の整備状況等について

事務局から【資料４】に基づき、地域密着型サービス事業所の整備状況等について説明があった。

新規指定

- ・地域密着型通所介護２施設（運営法人変更による新規指定）
- ・看護小規模多機能型居宅介護１施設（新規指定）
- ・介護予防支援１施設（新規指定）

（５）第９期事業計画における地域密着型サービス施設整備について

事務局から【資料５】に基づき、第９期事業計画における地域密着型サービス施設整備について説明があった。

認知症対応型共同生活介護

- ・第９期介護保険事業計画において令和８年度に１施設を開設する整備計画とする。
- ・令和６年度、令和７年度は総量規制を適用し、指定申請があった場合は指定を拒否する。

（６）令和６年度地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について

事務局から【資料６】に基づき、令和６年度報酬改定における主な改定事項について説明があった。

主な改定事項

- ・身体的拘束等の適正化の推進のための措置等が義務付けられた。
- ・介護職員の処遇改善に係る三つの加算が一本化された。

7 主な意見・質疑等

(1) 地域密着型サービス事業所の整備状況等について

《質問》 それぞれの圏域で休止または廃止になってる事業所がいくつかあるが、その主な理由は何か。

《回答》 休止については施設の修繕工事が主な理由であり、廃止については運営法人が変わったことが主な理由である。

《意見》 企業における TOB のようなある程度資産価値があるものを早めに売っておこうという法人の思惑や、人材不足で経営が難しいとか、利用者が少ないとか様々な理由があると思うので、今後分析できるようにあればどういう理由で休止、廃止するのか調べていただけるとありがたい。

《回答》 今後、休止や廃止の理由について分析を進めたいと思う。

《質問》 認知症対応型通所介護の実績が定員に対してマイナスが続いている状態だが、これに対して対策は考えているのか。

《回答》 10月発行の区報「高齢者福祉・介護保険特集号」にて、認知症対応型通所介護について掲載して周知することとしている。認知症に精通したスタッフの専門的ケアが受けられることや少人数制による手厚い介護を受けられることなどの説明を記載しているので、有効性について知っていただいた上で、利用していただけたらと思う。

(2) 第9期事業計画における地域密着型サービス施設整備について

《意見》 将来を予測しながら施設を整備し、給付と負担の関係を維持していくということなので匙加減が難しいところだが、墨田区のこれまでの傾向等を踏まえて計画が立てられて、それに対して十分ご議論いただいていると思うので、計画に則って粛々と域密着型サービスについて整備していただきたい。

(3) 令和6年度地域密着型サービスの介護報酬改定の概要について

《質問》 LIFE へのデータ提出については、フィードバックが非常に遅く現場に活かすことができないとの意見がある。それからしばらく経ったので、そのあたりがスムーズにフィードバックされるようになっているのか、把握していることはあるか。

《回答》 LIFE に関しては、保険者として確認することができないので何とも言えない。

《質問》 一般的な評価としては、負担ばかり多くて効果が見えないという状況である。スタートしてから3年ほど経つがなかなか実績が上がらず、今回それに対するインセンティブというか罰則としての減算項目を盛り込んでいるので、やらなければならないという意識が高まっており、それが逆にケアマネジャーさん達の負担になっているのだと思う。墨田区という話ではなく国全体の話だとは思いますが、もし意見を述べる場があれば、区から現場の意見としてぜひ伝えていただければと思う。事務局はいかがか。

《回答》 わかりました。

《意見》 介護職員の処遇改善について一本化したとはいえ、10月と11月で役員をしているところも閉鎖という話を聞いており、他にも介護事業所が一か所10月に閉鎖ということで続いていて、要は介護報酬や介護職員の処遇は上がっても運営自体が厳しくなっている現状があるのでお伝えしておく。

《意見》 人材確保の観点では、区としても保険者としてやるべきことはいろいろあると

思うので、例えば研修費用の助成等について今年度増額を行い、ケアマネジャーさんの研修費用については新たに助成を始めた。今後、介護助手等の事業についても検討しているところであり人材確保についての施策は、区としても打っていきたいと思う。

《意見》 今回の介護報酬の改定では1.59%全体で上がったが、ホームヘルプのサービス等は2%ぐらい下がっているという実態に対して、いくつかの市民団体等が立ち上がり、9月18日に8時間もの問題提起にかかる対応があった。介護報酬の改定等々によって複雑化し、あるいはLIFEのように新たな制度が現場の負担になっている実態がある。介護報酬は国が決めることだからということではなく、先ほども研修費用の話があったが、都でも今後住宅資金の貸し付け等々も制度化する予定なので、区としてもできることを考えていく必要があると思う。もちろんできることとできないことがあるが、事業者の運営を維持していくと結果的に区民の方々の利益を守ることになるので、区としても対応できることを考えていただきたい。

墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

（墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業
計画策定のためのアンケート調査）

大切なあなたの声をお聞かせください

墨田区では、「高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみ」をつくるよう取り組んでいます。この度、その実現に向けた計画を策定するにあたり、アンケート調査を実施することにいたしました。皆様のご意見をお聞かせください。

この調査は、墨田区にお住まいの65歳以上の高齢者の中から4,000名を無作為に選ばせていただき実施するものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理するとともに、「墨田区個人情報保護条例」に基づき適正に取り扱い、高齢者支援総合センター、高齢者みまもり相談室の支援活動に利用するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。また、区の委託事業として国立大学法人千葉大学と日本老年学的評価研究機構（JAGES）と共同で、区民の健康と生活環境の関連等について分析研究し、区民の皆様の健康課題の解決に向けた取組を推進することを目的として回答内容を活用いたします。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、調査結果は、ホームページで公表いたしますが、個人を特定されることはございませんのでご安心ください。

令和4年10月
墨田区長 山本 亨



ひと、つながる。
墨田区

《記入にあたってのお願い》

1. 質問における「あなた」とは、左上シールのあて名ご本人のことです。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
3. 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
4. 設問は第1「あなたの家族や生活状況について」から第13「今後の生活について」までとなります。
5. ①郵送、または②インターネットからいずれか1つを選択して回答してください。いずれでも **10月17日（月）までに** 投函または入力完了してください。
 - ① 郵送により回答を行う場合、ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、お近くの郵便ポストに投函してください。
なお、この調査票以外の他の書類を封筒に入れないでください。
 - ② インターネットにより回答を行う場合、右の二次元バーコード、または、以下のURL か墨田区ホームページをご利用ください。
<https://www15.webcas.net/form/pub/kmci/sumida>
墨田区トップページ→健康・福祉→高齢者への支援→墨田区ニーズ調査
入力の最初に左上のあなたのIDとパスワードを入力してください。
60分以上放置すると内容が消えてしまうため、その場合は一時保存してください。
6. ご不明な点等がございましたら、次頁の担当窓口までお問い合わせください。



■調査についてのお問い合わせ先

【調査の趣旨】	墨田区福祉保健部高齢者福祉課 電話 03-5608-6168（直通） 受付時間 8：30～12：00、13：00～17：00（土日祝日除く）
【調査内容・回答方法】	株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 電話 0120-187-182（フリーダイヤル※調査期間中のみ）
本件委託会社	受付時間 10：00～17：00

[illegible]

※以下の質問における「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。

第1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)

1. 1人暮らし	4. 息子・娘との2世帯
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	5. その他
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	()

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない (→(3)へ進む)	} (→①、②へ進む)
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	

① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)	11. 骨折・転倒
2. 心臓病	7. パーキンソン病	12. 脊椎損傷
3. がん(悪性新生物)	8. 糖尿病	13. 高齢による衰弱
4. 呼吸器の病気(肺炎・気管炎等)	9. 腎疾患(透析)	14. その他()
5. 関節の病気(リウマチ等)	10. 視覚・聴覚障害	15. 不明

② 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも○)

1. 配偶者(夫・妻)	3. 娘	5. 孫	7. 介護サービスのヘルパー
2. 息子	4. 子の配偶者	6. 兄弟・姉妹	8. その他()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう	4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある
----------	----------	--------	-------------	-------------

(4) お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)	
1. 持家(一戸建て)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅) みんかんちんたいじゅうたく
2. 持家(集合住宅) こうえいちんたいじゅうたく	6. 借家
3. 公営賃貸住宅 みんかんちんたいじゅうたく	7. その他()
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	
(5) 【(4)で3～6と回答した方のみ】負担可能な家賃及び共益費を合計した月額はいくらですか。(1つに○)	
1. 5万円未満	4. 7万円以上8万円未満
2. 5万円以上6万円未満	5. 8万円以上
3. 6万円以上7万円未満	

第2	からだを動かすことについて
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(3) 15 分くらい続けて歩いていますか。(1つに○)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない 3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)	
1. 何度もある	2. 1度ある 3. な い
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)	
1. とても不安である	2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)	
1. とても減っている	2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか。(1つに○)	
1. は い (→①へ進む)	2. いいえ (→ (9) へ進む)
① 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)	
1. 病 気 しょうがい のうそっちゅう こういしょう	6. 目の障害
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配(失禁など)	9. 交通手段がない
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	10. その他()
(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)	
1. 徒 歩	6. 電 車 11. 歩行器・シルバーカー
2. 自転車	7. 路線バス 12. タクシー
3. バイク	8. 病院や施設のバス 13. その他()
4. 自動車(自分で運転)	9. 車いす
5. 自動車(人に乗せてもらう)	10. 電動車いす(カート)

第3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長

--	--	--

cm

体重

--	--	--

kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(1つに○)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用(→①、②へ進む)
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし(→①を答えてから(7)へ進む)
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用(→①、②へ進む)
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし(→①を答えてから(7)へ進む)

① 噛み合わせは良いですか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

② 【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つに○)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

第4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○) 1. はい 2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(9) 年金などの書類(役所や病院に出す書類)が書けますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(10) 新聞を読んでいますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)	1. は い	2. いいえ
(17) 趣味はありますか。(1つに○)		
A. 趣味あり →()	B. 思いつかない	
(18) 生きがいがありますか。(1つに○)		
A. 生きがいあり →()	B. 思いつかない	
① 生きがいとしてやってみたいことはありますか。(1つに○)		
A. ある(→それはどんなことですか。(いくつでも○)) B. 思いつかない		
1. 趣味やスポーツ、レジャー	5. 友人との交流	
2. 家族やペットとの交流	6. 健康づくり、介護予防	
3. 仕事、軽作業	7. ボランティア活動、社会貢献	
4. 勉強、生涯学習、パソコン教室		
(19) スマートフォン(スマホ)、タブレット、パソコンのいずれかをお持ちですか。(1つに○)		
1. 持っている(持っているものに○ A.スマホ B.タブレット C.パソコン)(→①、②へ進む)		
2. 持っていない (→③へ進む)		
①それらはどのようなときに使用しますか。(いくつでも○)		
1. 家族、友人等への電話連絡	6. ライン等のSNSを利用	
2. 家族、友人等へのメール連絡	7. ネットバンキングや金融取引	
3. カメラの利用	8. インターネットによる行政手続の使用	
4. インターネットでの情報収集	9. Zoomなどオンラインでの会話	
5. キャッシュレス決済	10. その他()	
②それらの使用方法がわからないときに誰に聞きますか。(いくつでも○)		
1. 同居している家族	4. 携帯ショップ	
2. 同居していない家族	5. 行政の主催する講座や相談会	
3. 友人	6. その他()	
③それらを利用しない理由はなんですか。(いくつでも○)		
1. 必要性を感じない	4. お金がかかるから	
2. 使い方がわからないため面倒	5. その他()	
3. 使い方を覚えたいが教えてくれる人がいない		

(20) あなたの収入、介護保険サービスと介護保険料についておたずねします。

① あなたご本人の収入について、1年間の手取り金額※をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 100万円以下 | 4. 301～400万円 | 7. 601～700万円 |
| 2. 101～200万円 | 5. 401～500万円 | 8. 701万円以上 |
| 3. 201～300万円 | 6. 501～600万円 | |

※1年間の手取り金額…年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額

② 介護保険サービスと介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
2. 介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である
3. 介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい
4. その他()
5. わからない

(21) コロナ禍により生活の変化はありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. スマホやパソコンを学び使う機会が増えた | 5. 以前楽しめていたことが楽しめなくなった |
| 2. オンラインにより以前より遠方の家族や友人との交流が増えた | 6. 足腰や口のかむ力が衰えた |
| 3. 家族と過ごす時間が増えた | 7. ストレスや悩みが増えた |
| 4. オンラインを含め人と会う機会が減った | 8. その他() |
| | 9. 特にない |

第5 地域での活動について

(1) 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※A.～H.それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

※すべて「6」を選択した方は②へ進む

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
A.ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
B.スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
C.趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
D.学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
E.介護予防のための通いの場 ※お住まいの地域で、住民が主体とな って活動している体操、趣味活動 (ウォーキング、カラオケ、朗読、ゲー トボール、手芸、囲碁や将棋等)、サ ロン活動(茶話会)	1	2	3	4	5	6
F.老人クラブ	1	2	3	4	5	6
G.町会・自治会	1	2	3	4	5	6
H.収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

① 【(1)の A.～G.の活動に参加したことがある方のみ】 それぞれに○、また、□に数字を記入してください。			
ア 活動する時間帯は、何時から何時までが良いと思いますか。24時間制でお答えください。		時～ 時まで	
		(例)09時～15時まで	
また、どの程度の活動時間が良いと思いますか。		時間程度	
イ 参加している活動の主な活動場所はどこですか。(いくつでも○)			
1. 地域の集会所	3. 高齢者支援 総合センター	5. 個人宅	7. 町会会館
2. 公園	4. 区の施設(1～3を 除く)	6. 企業・事業所の スペース等	8. その他 ()
ウ 今までに活動場所がバリアフリーでないため、参加をあきらめた方がいましたか。 (1つに○)			
1. いる		2. いない	
エ 活動場所の使用に費用負担はありますか。(1つに○)			
1. ある 1回()円(→オへ進む)		2. ない	
オ 【エで、1. あるに○をした方のみ】 活動場所が有料であることで、会・グループ等の活動の負担となっていますか。(1つに○)			
1. 負担になっている →(2)へ進む		2. 負担とはならない →(2)へ進む	
② 【(1)の A.～G.で、すべて「6」を選択した方のみ】 参加していない理由を教えてください。(いくつでも○)			
1. 関心が無い	4. 必要に迫られていない	7. その他	
2. 参加する時間がない	5. 地域の人と交流したくない	()	
3. どのような活動があるか知らない	6. メリットがない	→(2)へ進む	
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つに○)			
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つに○)			
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している

第6	たすけあいについて		
	あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも○)			
1. 配偶者	3. 別居の子ども	5. 近 隣	7. その他()
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	6. 友 人	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも○)	
1. 配偶者	3. 別居の子ども
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近 隣	7. その他()
6. 友 人	8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも○)	
1. 配偶者	3. 別居の子ども
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近 隣	7. その他()
6. 友 人	8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも○)	
1. 配偶者	3. 別居の子ども
2. 同居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近 隣	7. その他()
6. 友 人	8. そのような人はいない
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)	
1. 町会・自治会、老人クラブ	5. 高齢者支援総合センター・区役所
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他()
3. ケアマネジャー	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)	
1. 毎日ある	4. 月に何度かある
2. 週に何度かある	5. 年に何度かある
	6. ほとんどない
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数える こととします。(1つに○)	
1. 0人(いない)	2. 1～2人
3. 3～5人	4. 6～9人
	5. 10人以上
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)	
1. 近隣・同じ地域の人	4. 仕事での同僚・元同僚
2. 幼なじみ	5. 趣味や関心が同じ友人
3. 学生時代の友人	6. ボランティア等の活動での友人
	7. その他()
	8. いない

第7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)	
1. とてもよい	2. まあよい
3. あまりよくない	4. よくない
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。(点数1つに○)	
とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	
2点	
3点	
4点	
5点	
6点	
7点	
8点	
9点	
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 (1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じ がよくありましたか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ

(5) お酒は飲みますか。(1つに○)			
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)			
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)			
1. な い	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	15. 認知症	
2. 高血圧	9. 腎臓・前立腺の病気	(アルツハイマー病等)	
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	10. 筋骨格の病気	16. パーキンソン病	
4. 心臓病	(骨粗しょう症・関節症等)	17. 目の病気	
5. 糖尿病	11. 外傷(転倒・骨折等)	18. 耳の病気	
6. 高脂血症(脂質異常)	12. がん(悪性新生物)	19. その他	
7. 呼吸器の病気	13. 血液・免疫の病気	()	
(肺炎や気管支炎等)	14. うつ病		

第8 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ		
(3) お住まいの地域は、あなたやあなたの家族に認知症の症状があっても住みやすい地域だと思いますか。(1つに○)			
1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない
(4) 成年後見制度(※)を知っていますか。(1つに○)			
1. 内容をよく知っている	3. 名前は知っているが内容は知らない		
2. だいたいの内容は知っている	4. はじめて聞いた		
※成年後見制度 … 認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。			

第9 お住まいについて

(1) 現在のお住まいや住環境などで、今、困っていることはありますか。(いくつでも○)	
1. 玄関周りの段差	7. オートロックがない
2. 廊下や居室などの段差	8. 管理人が常駐していない
3. 屋内の階段	9. 買物をする場所が近くにない
4. 段差や腰をあげる箇所に手すりがない	10. 鉄道やバスの利用が不便
5. 浴室や浴槽が狭い、使いづらい	11. 家族が近くにいない
6. エレベーターがない	12. その他()
	13. 特にない
(2) 現在お住まいの建物の建築時期はいつ頃でしたか。(1つに○)	
1. 令和元(2019)年以降	5. 昭和 56(1981)年～昭和 63(1988)年
2. 平成 21(2009)年～平成 30(2018)年	6. 昭和 26(1951)年～昭和 55(1980)年
3. 平成 11(1999)年～平成 20(2008)年	7. 昭和 25(1950)年以前
4. 平成元(1989)年～平成 10(1998)年	8. わからない

(3) お住まいのお風呂に入ることにお困りごとはありますか。(いくつでも○)	
1. 特にない	4. 浴室・脱衣所が寒い(特に冬)
2. 浴槽がまたげない	5. 見守りがないと入れない
3. 足場がすべる	6. 自宅に入浴設備がない
(4) 公衆浴場を利用するのに困りごとはありますか。(いくつでも○)	
1. 特にない	4. 段差がある・浴槽が深い
2. 場所が遠い	5. 一人で入浴することに不安がある
3. 一人で行くことができない	6. 料金が低い
	7. その他()
(5) 墨田区では65歳以上を対象に週に1度無料で利用できるにこにこ入浴デーを実施していますが、他に公衆浴場利用にあたり何か希望することがありますか。(いくつでも○)	
1. 特にない	4. 入浴後に談笑できるスペース
2. 入浴に不安のある人を見守るボランティア制度	5. 定期的な催し
3. 銭湯までの送迎	6. 利用可能な曜日の拡大

第10 地域のつながりについて

(1) あなたは、お住まいの地域の人とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに○)	
1. 親しく付き合っている (→(2)へ進む)	3. あいさつをする程度 (→(2)へ進む)
2. 立ち話をする程度 (→(2)へ進む)	4. 付き合いはほとんどない (→①へ進む)
① 【(1)において「4. 付き合いはほとんどない」の方のみ】付き合いがない主な理由は何ですか。(1つに○)	
1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから	5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
2. 引っ越してきて間もないから	6. あまり関わりをもちたくないから
3. ふだん付き合う機会がないから	7. 新型コロナウイルスの流行をきっかけに交流がなくなったから
4. 近隣の人と知り合うきっかけがないから	8. その他()
	9. 特に理由はない
(2) 次の中にあなたのお住まいの地域で行われていることはありますか。(いくつでも○)	
1. 近隣同士でよくあいさつをしている	7. ボランティアやNPO法人の活動が活発に行われている
2. 近隣同士で立ち話をしている	8. 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している
3. 困ったときに近隣同士で助けあっている	9. その他()
4. 回覧板・掲示板などが活用されている	10. 行われていることはない
5. 町会・自治会、子ども会等の地縁団体の活動が活発に行われている	
6. 地域集会所・公園・近隣の家など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている	



(3) 今後、あなたが地域の活動や支え合いの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 活動情報の提供があること | 7. 時間や期間にあまりしばられないこと |
| 2. 活動や団体を紹介してくれること | 8. 身近なところで活動できること |
| 3. 友人等といっしょに参加できること | 9. 適切な指導者やリーダーがいること |
| 4. 気軽に参加できそうな活動があること | 10. 身体的な負担が少ないこと |
| 5. NPO 法人や自主サークルの立ち上げ支援があること | 11. 金銭的な負担が少ないこと |
| 6. 活動拠点となる場所があること | 12. その他() |
| | 13. どのような条件でもできない |

(4) あなたのお住まいの地域には、認知症や閉じこもりなど、無事に生活が送れているかどうか心配な高齢者がいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. いる(→①へ進む) | 3. わからない(→(5)へ進む) |
| 2. いない(→(5)へ進む) | |

① 【(4)において「1. いる」の方のみ】

あなたは、その方とどのように接していますか。(いくつでも○)

1. とときどき高齢者宅を訪問し、話をしている
2. 近隣の住民に様子を聞いている
3. ポストに新聞がたまっているか、電気の点灯があるかなど、さりげなく見守っている
4. お住まいの地域の集いの場や定期的なお茶会等への参加状況を把握している
5. 地域住民による見守りのネットワークを形成し、見守りと情報共有を行っている
6. 民生委員や高齢者支援総合センター、みまもり相談室、区役所等と情報交換している
7. その他()
8. 特に何もしていない

(5) あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそうは思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そうは思わない |

(6) 認知症サポーター養成講座についてお伺いします。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 受講したことがあり活かしている | 3. 知っているが受講したことはない |
| 2. 受講したが活かしていない | 4. はじめて聞いた |

※認知症サポーター養成講座 … 地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする認知症サポーターを養成する講座。

第 11 お住まいの地域での手助けについて

(1) 現在、あなたは次のような手助けをお住まいの地域で受けていますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 8. 災害時など緊急時の手助け |
| 2. ちょっとした買い物やゴミ出し | 9. 行き帰りの送迎 |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10. 購入品の宅配 |
| 4. 食事の提供(会食・配食など) | 11. 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5. 通院や外出の手助け | 12. その他 |
| 6. ちょっとした軽作業 | () |
| 7. 話し相手や相談相手 | 13. 受けていない(→①に進む) |

--▶ (→(2)へ進む)

① 【(1)において「13. 受けていない」を選択した方のみ】

手助けを受けていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. どこに(誰に)頼めばいいのかわからない | 5. 頼むのが面倒である |
| 2. 費用がかかる | 6. その他() |
| 3. 人との関わりを持ちたくない | 7. 特にない |
| 4. 世間体が気になる | 8. 手助けを必要としていない |

(2) あなたが、日常生活を送る上で不自由な状態になった場合、お住まいの地域でどんな手助けをしてほしいですか。(3つまでに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 8. 災害時など緊急時の手助け |
| 2. ちょっとした買い物やゴミ出し | 9. 行き帰りの送迎 |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10. 購入品の宅配 |
| 4. 食事の提供(会食・配食など) | 11. 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5. 通院や外出の手助け | 12. その他() |
| 6. ちょっとした軽作業 | 13. 特にない |
| 7. 話し相手や相談相手 | |

(3) (高齢者のみならず)住民が安心して暮らすことができるよう、お住まいの地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 8. 災害時など緊急時の手助け |
| 2. ちょっとした買い物やゴミ出し | 9. 行き帰りの送迎 |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 10. 購入品の宅配 |
| 4. 食事の提供(会食・配食など) | 11. 定期的に自宅を訪問する御用聞き |
| 5. 通院や外出の手助け | 12. その他() |
| 6. ちょっとした軽作業 | 13. 特にない |
| 7. 話し相手や相談相手 | |

(4) あなたは、お住まいの地域で、いま何が問題だと感じていますか。(5つまでに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 健康づくりや介護予防の取り組みが不十分なこと | 7. 近隣住民との付き合いなど地域のつながりが希薄なこと |
| 2. 地域活動やボランティア活動に参加する機会が少ないこと | 8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいること |
| 3. 介護保険サービス以外の福祉サービスが不足していること | 9. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいること |
| 4. ひとり暮らし高齢者の見守りや支え合い活動が不十分なこと | 10. 高齢者に配慮した住まいや住環境が不十分なこと |
| 5. 働く機会や場が少ないこと | 11. 介護の入所施設が不足していること |
| 6. 在宅の介護サービスが不足していること | 12. 特に問題だと感じていることはない |

(5) 墨田区では高齢者の様々な相談の総合窓口として高齢者支援総合センター※(次頁)と高齢者みまもり相談室※(次頁)を設置しています。あなたのお住まいの地域を担当する高齢者支援総合センターと高齢者みまもり相談室を知っていますか。(1つに○)

1. 知っており相談したことがある 2. 知っているが相談したことはない 3. はじめて知った

※高齢者支援総合センターとは

高齢者の方が、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるように支援するための総合相談窓口です。区内8地区に設置され介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関するさまざまな支援を行っています。

※高齢者みまもり相談室とは

認知症や閉じこもりを含むひとり暮らし高齢者などに関する相談窓口です。高齢者支援総合センターに併設され、民生委員、町会・自治会、老人クラブ、介護事業所などと連携して見守りの必要な高齢者を支えています。

第 12 災害時や緊急時の避難、急病時の対応について

(1) あなたは、災害時(台風や地震等)や火災などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。(1つに○)

- 1. 避難できる(→(2)へ進む)
 - 2. ひとりで判断できるが、避難はできない
 - 3. ひとりでは判断も、避難もできない
 - 4. わからない(→(2)へ進む)
- } (→①へ進む)

① 【(1)において「2. ひとりで判断できるが、避難はできない」「3. ひとりでは判断も、避難もできない」の方のみ】災害や火災などの緊急時に避難する際、手助けを頼める人(同居を含む)はいますか。(1つに○)

- 1. いる
- 2. いない

(2) 急病時に手助けを頼める人(同居を含む)はいますか。(1つに○)

- 1. いる
- 2. いない

(3) 墨田区では、かかりつけ医療機関や服薬内容、緊急連絡先等を記入したシートや保険証の写しなどを入れて冷蔵庫等に保管する容器「救急医療情報キット」を、高齢者みまもり相談室等で配布しています。利用状況を教えてください。(1つに○)

- 1. 持っており活用している
- 2. 持っているが活用していない
- 3. 聞いたことはあるが持っていない
- 4. はじめて聞いた



救急医療情報キット

第 13 今後の生活について

(1) あなたには、自身の体調や口の中のケア、服薬について相談できる「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬剤師」はいますか。

(次のA～Cそれぞれあてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|------------------|-------|--------|----------|
| A. かかりつけ医…………… | 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
| B. かかりつけ歯科医…………… | 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
| C. かかりつけ薬剤師…………… | 1. いる | 2. いない | 3. わからない |

※かかりつけ医・歯科医・薬剤師・・・幅広い知識と見識を備え、健康に関する何を何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関等を紹介してくれる身近にいて頼りになる存在のこと。

(2) あなたは、医師や歯科医師、薬剤師、訪問看護師による次の在宅医療（患者さんの住まいに訪問して行う医療）の取組を知っていますか。（それぞれ1つに○）

	言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがある	はじめて聞いた
A. 訪問診療 ¹⁾	1	2	3
B. 往診 ²⁾	1	2	3
C. 看取り ³⁾	1	2	3
D. 訪問歯科診療 ⁴⁾	1	2	3
E. 訪問薬剤管理指導 ⁵⁾	1	2	3
F. 訪問看護 ⁶⁾	1	2	3

1) 訪問診療：医師が定期的かつ計画的に患者の自宅を訪問して診断を行うこと。

4) 訪問歯科診療：歯科医師、歯科衛生士が患者の自宅等を訪問し歯科診療や口腔ケアを行うこと。

2) 往診：患者の要請を受けて、医師がその都度、患者の自宅を訪問して診療を行うこと。

5) 訪問薬剤管理指導：保険薬剤師が、患者の自宅を訪問して、薬学的管理及び指導を行うこと。

3) 看取り：患者の望む場所（自宅や介護施設、病院等）と方法で最期まで見守り看病すること。

6) 訪問看護：主治医の指示によって、看護師や保健師、療法士などが自宅を訪問して看護すること。

(3) あなたは、介護予防のための教室や活動にどのくらいの頻度で参加していますか。（それぞれ1つに○）

	毎日	週 4～6 回	週 2～3 回	週 1 回	月 1～3 回	年に 数回	参加し ていな い
A. 区主催による運動を主とした介護予防事業（げんき応援教室、元気もりもり教室、すみだテイクテン教室、歩いてすっきり運動教室等）	1	2	3	4	5	6	7
B. 区内各施設で開催される体操等、介護予防に資すると思われる教室	1	2	3	4	5	6	7
C. フィットネス、スポーツジム等民間施設の利用	1	2	3	4	5	6	7
D. 介護予防サポーター※等による自主グループがお住まいの地域で実施する体操	1	2	3	4	5	6	7
E. 町会などお住まいの地域で行っている体操（ラジオ体操等）やサロン等	1	2	3	4	5	6	7
F. その他()	1	2	3	4	5	6	7

※介護予防サポーター… 介護予防の必要性や専門的な知識・方法を学ぶ区主催の養成講座を受講修了しており、区の介護予防事業等の活動に協力している区民。

① 【(3)においてA～Fでいずれか1つでも1～6を選択した方のみ】

参加している効果として感じるものはありますか。（いくつでも○）

1. 体力を維持、向上できる
2. 人と交流する機会を持つことができる
3. 楽しみ、生きがいを持つことができる

4. 介護予防に関する知識を知ることができる
5. その他()
6. 特に感じていることはない

(4) 区では元気応援ガイドを作成し、介護予防の実現に向けた活動を紹介しています。次のなかで参加してみたい活動はありますか。(いくつでも○) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ウォーキング</td> <td style="width: 33%;">5. 口腔ケア</td> <td style="width: 33%;">9. 男性向けトレーニング教室</td> </tr> <tr> <td>2. ストレッチ</td> <td>6. 自己健康診断</td> <td>10. その他()</td> </tr> <tr> <td>3. 筋力アップ</td> <td>7. 食生活講座</td> <td>11. 参加したいものがない</td> </tr> <tr> <td>4. 体操</td> <td>8. 脳トレーニング</td> <td></td> </tr> </table>			1. ウォーキング	5. 口腔ケア	9. 男性向けトレーニング教室	2. ストレッチ	6. 自己健康診断	10. その他()	3. 筋力アップ	7. 食生活講座	11. 参加したいものがない	4. 体操	8. 脳トレーニング	
1. ウォーキング	5. 口腔ケア	9. 男性向けトレーニング教室												
2. ストレッチ	6. 自己健康診断	10. その他()												
3. 筋力アップ	7. 食生活講座	11. 参加したいものがない												
4. 体操	8. 脳トレーニング													
(5) あなたは、今後介護が必要になった場合、あるいは要介護度が高くなった場合、どのように生活したいとお考えですか。(1つに○) 1. 現在の住宅に住み続けたい 2. 子どもや親族の家またはその近くの一般の住宅に移りたい 3. 高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど)に入居したい 4. 介護保険で入居できる施設(特別養護老人ホームなど)に入居したい 5. 2～4以外の一般の住宅に移りたい(自然環境のよいところ、生まれ育ったところなど) 6. その他() 7. わからない														
(6) あなたが特別養護老人ホームなどの施設に入所することになった場合、もっとも重要視する点はなんですか。(1つに○) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 場所が墨田区内であること</td> <td style="width: 50%;">5. 希望にあったケアを受けられること</td> </tr> <tr> <td>2. 多少遠方でも早期に入所できること</td> <td>6. 急な体調変化に対応してくれること</td> </tr> <tr> <td>3. 利用料金が低額であること</td> <td>7. 家族が通いやすいこと</td> </tr> <tr> <td>4. 居室や設備の形態が生活スタイルにあっていること</td> <td>8. その他()</td> </tr> </table>			1. 場所が墨田区内であること	5. 希望にあったケアを受けられること	2. 多少遠方でも早期に入所できること	6. 急な体調変化に対応してくれること	3. 利用料金が低額であること	7. 家族が通いやすいこと	4. 居室や設備の形態が生活スタイルにあっていること	8. その他()				
1. 場所が墨田区内であること	5. 希望にあったケアを受けられること													
2. 多少遠方でも早期に入所できること	6. 急な体調変化に対応してくれること													
3. 利用料金が低額であること	7. 家族が通いやすいこと													
4. 居室や設備の形態が生活スタイルにあっていること	8. その他()													
(7) あなたは、もし疾病などで長期の療養や介護が必要になった場合、できれば自宅で療養したり、介護を受け続けたいと思いますか。(1つに○) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. 思う(→①へ進む)</td> <td style="width: 33%; border: 1px dashed black; padding: 5px;">2. 思わない</td> <td style="width: 33%;">3. わからない</td> </tr> </table> --▶ (→(8)へ進む)			1. 思う(→①へ進む)	2. 思わない	3. わからない									
1. 思う(→①へ進む)	2. 思わない	3. わからない												
①【(7)において「1. 思う」の方のみ】 ご自宅での療養、介護を受けることは実現可能だと思いますか。(1つに○) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 実現可能だと思う(→(8)へ進む)</td> <td style="width: 50%;">3. わからない(→(8)へ進む)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2. 実現は難しいと思う(→②へ進む)</td> </tr> </table>			1. 実現可能だと思う(→(8)へ進む)	3. わからない(→(8)へ進む)	2. 実現は難しいと思う(→②へ進む)									
1. 実現可能だと思う(→(8)へ進む)	3. わからない(→(8)へ進む)													
2. 実現は難しいと思う(→②へ進む)														
②【①において「2. 実現は難しいと思う」の方のみ】 それはなぜですか。(3つまでに○) 1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから 2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから 3. 往診してくれる医師がいないから 4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから 5. 家族に負担をかけるから 6. 看護や介護してくれる家族がいないから 7. 療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから 8. お金がかかるから 9. その他() 10. 特に理由はない														

(8) あなたは、人生の最終段階に受けたい医療やケアについて、誰と話し合っていますか。
(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 同居の家族・親族 | 6. ケアマネジャー |
| 2. 別居の家族・親族 | 7. ヘルパー |
| 3. 友人・知人・近隣の人 | 8. 話し合っていない |
| 4. かかりつけ医(歯科医師含む)・薬剤師 | 9. その他() |
| 5. 訪問看護師 | |

(9) 人生会議[アドバンス・ケア・プランニング(ACP)](※)を知っていますか。(1つに○)

1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は知っている 3. はじめて聞いた

※人生会議[アドバンス・ケア・プランニング(ACP)]…人生の最終段階で受けたい医療やケアについて、自分自身で前もって考え、信頼する人と話し合い、共有しておく取組のこと。

(10) 最後に、生きがいを持って暮らせるしくみづくりのために、高齢者福祉や介護保険などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただきありがとうございました。

皆様からいただいたアンケートは、
高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみづくりに活用させていただきます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、10月17日(月)までにお近くのポストに投函してください。ただし、インターネットにより回答されたい方は本アンケート用紙を投函しないでください。

墨田区在宅介護実態調査

（墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査）

大切なあなたの声をお聞かせください

墨田区では、「高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみ」をつくるよう取り組んでいます。この度、その実現に向けた計画を策定するにあたり、アンケート調査を実施することにいたしました。皆様のご意見をお聞かせください。

この調査は、要介護者の方の在宅生活の継続や、ご家族等介護者の方の就労継続に有効なサービスのあり方を検討するため、厚生労働省の在宅介護実態調査手法により実施するもので、計画の基礎資料となる重要な調査です。調査の対象者は、墨田区にお住まいの要支援・要介護認定を受けている方のうち、令和4年度に入り更新・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方の中から1,200名を無作為に選ばせていただきました。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理するとともに、「墨田区個人情報保護条例」に基づき適正に取り扱います。また、要支援・要介護認定データと関連付けた分析を行うため、認定データを活用しますが、利用については墨田区情報公開制度及び個人情報保護制度運営審議会の一括承認事項に該当していることを申し添えます。統計的に処理された調査結果はホームページに公表されますが、個人は特定されませんのでご安心ください。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年10月 墨田区

《記入にあたってのお願い》

1. この調査票は、【A票：あなた（あて名ご本人）について】と、【B票：主な介護者の方について】の2種類あります。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで、代わりにご記入ください。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的にご記入いただくものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

10月17日（月）までに お近くの郵便ポストに投函してください。

5. 返信用封筒に、この調査票以外の他の書類を入れないでください。

ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査内容・回答方法】 株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研究所（本調査委託会社）
電話 0120-187-182（フリーダイヤル ※調査期間中のみ）
受付時間 10：00～17：00

【調査の趣旨】 墨田区 福祉保健部 介護保険課 管理・計画担当
電話 03-5608-1179（直通）
受付時間 8：30～12：00、13：00～17：00（土日祝日除く）

A票

◎このA票を回答するのは、どなたですか。

(いくつでも○)

1. あて名ご本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他()

※以下の質問における「あなた」とは1 ページ目左上シールのあて名ご本人のことです。

問1 あなたの世帯類型について、ご回答ください。

(1つに0)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他

問2 あなたは、ご家族やご親族から、週にどのくらい介護を受けていますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。

(1つに0)

1. うけていない（→問 8（次ページ）へ進む）
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぽ毎日ある
- （→問 3 へ進む）

問3 (あなたを介護する)主な介護者の方は、どなたですか。

(1つに0)

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他() |

問4 (あなたを介護する)主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

(1つに0)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 男 性 | 2. 女 性 |
|-----------|-----------|

問5 (あなたを介護する)主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

(1つに0)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 代 | 3. 30 代 |
| 4. 40 代 | 5. 50 代 | 6. 60 代 |
| 7. 70 代 | 8. 80 歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、次のうちどれですか。
(いくつでも○)

[身体介護]

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排せつ | 2. 夜間の排せつ |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服 薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

[生活援助]

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

[その他]

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます)。

(いくつでも○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない |
| 6. わからない |

※ここから再び、全員の方がお答えください。

問8 現在、あなたが利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、次のうちどれですか(総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます)。

(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 配 食 | 2. 調 理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他() |
| 11. 利用していない | |

(→次ページへ進む)

問9 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、次のうちどれですか(介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます)。

(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他() |
| 11. 特になし | |

問 10 あなたは、施設等への入所・入居について検討していますか(「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します)。

(1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

問 11 あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください。

(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | |
| 14. その他() | 15. なし |
| | 16. わからない |

問 12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか(訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません)。

(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問 13 あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか。

(1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している(→問 15 へ進む) | 2. 利用していない(→問 14 へ進む) |
|----------------------|-----------------------|

問 14 問 13 で「2」と回答した方にお伺いします。

あなたが、介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない |
| 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護するため必要ない |
| 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい |
| 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない |
| 9. その他() |

問 15 「看取り」とは、患者が望む場所(自宅や介護施設、病院等)と方法で死期まで見守り看病する事を指します。あなたは看取りの言葉や内容についてご存じでしたか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|-------------|------------|
| 1. 言葉も内容も知っていた | 2. 言葉は知っていた | 3. はじめて知った |
|----------------|-------------|------------|

問 16 人生の最終段階で受けてみたい医療やケアについて、自分自身で前もって考え、信頼する人と話し合い、共有しておく取組を「人生会議」[アドバンス・ケア・プランニング(ACP)]と呼んでいます。あなたは「人生会議」の言葉や内容についてご存じでしたか。(1つに○)

- | | | |
|----------------|-------------|------------|
| 1. 言葉も内容も知っていた | 2. 言葉は知っていた | 3. はじめて知った |
|----------------|-------------|------------|

問 17 あなたは人生の最終段階で、どのような方針で医療やケアを受けたいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 治療を優先した医療を受けたい | 2. 日常生活を優先した医療を受けたい |
| 3. できるだけ医療を受けたくない | 4. その他() |
| 5. 決めていない | 6. わからない |

問 18 あなたは、人生の最終段階に受けてみたい医療やケアについて、誰と話し合っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 同居の家族・親族 | 2. 別居の家族・親族 |
| 3. 友人・知人・近所の人 | 4. かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師 |
| 5. 訪問看護師 | 6. ケアマネジャー |
| 7. ヘルパー | 8. 民生委員 |
| 9. 話し合っていない | 10. その他() |

問 19 あなたご本人の収入について、1年間の手取り金額(年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額)をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 100 万円以下 | 2. 101～200 万円 | 3. 201～300 万円 |
| 4. 301～400 万円 | 5. 401～500 万円 | 6. 501～600 万円 |
| 7. 601～700 万円 | 8. 701 万円以上 | 9. 収入はない |

(→次ページへ進む)

問 20 介護保険サービスと介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい |
| 2. 介護保険料も介護保険サービスの量も今くらいが妥当である |
| 3. 介護保険サービスを抑えても介護保険料は安い方がよい |
| 4. その他() |
| 5. わからない |

問 21 台風や大雨による河川の氾濫など、風水害の発生に備えて避難をする場合、あなたはどこに避難しようと考えていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 区内の親戚や友人宅 | 2. 区外の親戚や友人宅 |
| 3. 日頃利用する介護サービス事業所 | 4. 区が指定する避難場所 |
| 5. 避難せず、自宅にとどまる | 6. 決めていない |
| 7. その他() | |

問 22 避難先へ移動する場合、どなたと移動しますか、また、どのような手段で移動しますか。(それぞれ1つに○)

【どなたと】	【どのような手段で】
1. 一人で移動	1. 徒歩
2. 同居の家族と一緒に移動	2. 自転車
3. 親戚や友人など同居していない身近な人と移動	3. 自家用自動車(自分や親族、友人など)
4. 町会など地域の協力者と移動	4. タクシー・バスなど公共交通機関
5. わからない	5. 日頃利用する介護サービス事業所等の乗用車
6. その他()	6. その他()

問 23 最後に、生きがいをもって暮らせるまちづくりのために、高齢者福祉や介護保険などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

■次ページからの B 票は、問 2 で「2」～「5」と回答した方が調査対象となります。調査票へのご回答は「主な介護者」の方がご記入ください。

■「主な介護者」の方が回答できない場合は、あて名のご本人が、ご回答・ご記入をお願いします(ご回答が困難な場合は、無回答で結構です。このまま、同封の返信用封筒に入れ、投函してください)。

B 票**主な介護者の方について**

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|---|----------------|
| 1. フルタイムで働いている | } | (→問2へ進む) |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | (→問5(次ページ)へ進む) |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。

自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(いくつでも○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまでに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他() | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないとわからない | |

問4 問1で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

(→次ページへ進む)

※ここから再び、全員の方がお答えください。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(3つまでに○)

[身体介護]

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排せつ | 2. 夜間の排せつ |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服 薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

[生活援助]

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

[その他]

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他() | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 在宅で介護されている方の負担を軽くする援助サービス等として以下のようなものがありますが、利用されていますか。利用頻度の最も多いもの1つに○をつけてください。
(1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. ショートステイの利用 | 2. (看護)小規模多機能型居宅介護の利用 |
| 3. デイサービスの利用 | 4. 保険外サービスの家事援助等の利用 |
| 5. 保険外サービスのお泊まりデイの利用 | 6. 他の家族・親族にお願いする |
| 7. その他() | |

①問6の回答を選んだ理由を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 安心して任せられるから | 2. 経済的に利用しやすいから |
| 3. 希望日に利用が可能だから(予約が取りやすいから) | |
| 4. 場所が近く移動が負担にならないから | 5. その他() |

問7 最後に、要介護者の方を介護することや、仕事と介護を両立することへの支援について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。
記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
10月17日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画

策定のための介護サービス事業所調査

調査についてのお願い

墨田区では、「高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみ」をつくるよう取り組んでいます。この度、その実現に向けた計画を策定するにあたり、アンケート調査を実施することにいたしました。皆様のご意見をお聞かせください。

この調査は、令和4年8月現在、墨田区内で介護サービスを提供している事業所を対象に、人材の確保・育成の取組状況と今後の取組等について、ご意見・ご要望等をお聞きするもので、施策の基礎資料となる重要な調査です。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理するとともに、「墨田区個人情報保護条例」に基づき適正に取り扱い、事業所名が特定される形での公表や、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年8月 墨田区

《記入にあたってのお願い》

- ◆ 調査基準日は、令和4年8月1日現在とします。
- ◆ 本調査では、サービスの種別かつ拠点毎に「事業所」を一つと数えます。名称・所在地が同じであっても複数のサービスを提供している場合、または、墨田区に複数の拠点を有している場合は、調査票を別々に送付しますので、サービス種別・拠点毎に調査票をご回答ください。
- ◆ 回答は、事業所の管理者等の方が、事業所のお立場からご回答ください。
- ◆ 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入いただくものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
- ◆ 本調査票は「墨田区ケア倶楽部」のサイトからもダウンロードすることができますので、必要に応じてご利用ください。
- ◆ ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手貼付済）に入れ、

8月30日（火）までに

お近くの郵便ポストに投函してください。

ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

《問合せ先》

墨田区福祉保健部介護保険課管理・計画担当

電 話 03-5608-1179（直通）

受付時間 8：30～12：00、13：00～17：00
（土日祝日除く）

メー ル kaigohoken@city.sumida.lg.jp

**墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画の
基礎となる重要な調査です。ご協力をお願いします。**

【貴事業所の概要についておたずねします】

問1 貴事業所の名称及び所在地(圏域)等を記入してください。

事業所名	
法人形態(1つに○)	1. 社会福祉法人 2. 医療法人、医療法人社団 3. 社団法人、財団法人 4. 営利法人(会社) 5. 特定非営利活動法人(NPO 法人) 6. その他()
圏域(1つに○)	1. みどり圏域(両国・千歳・緑・立川・菊川・江東橋) 2. 同愛圏域(横網・亀沢・石原・本所・東駒形・吾妻橋) 3. なりひら圏域(錦糸・太平・横川・業平) 4. こうめ圏域(向島・押上) 5. むこうじま圏域(東向島一、二、三、五、六丁目・京島) 6. うめわか圏域(堤通・墨田・東向島四丁目) 7. ぶんか圏域(文花・立花) 8. 八広はなみずき圏域(八広・東墨田)
記入者(1つに○)	1. 事業所の管理者 2. 事業所の役員(管理者以外) 3. 経営部門の担当者 (総務・企画・管理・人事等)

問2 貴事業所のサービス種別(封筒に記載されたサービス種別)は次のうちどれですか。

(1つに○)

1. 通所介護(デイサービス)	12. 短期入所療養介護(ショートステイ)
2. 地域密着型通所介護(デイサービス)	13. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
3. 認知症対応型通所介護(デイサービス)	14. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
4. 通所リハビリテーション(デイケア)	15. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
5. 訪問介護(ホームヘルプ)	16. 地域密着型特定施設入居者生活介護
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17. 介護老人保健施設
7. 訪問リハビリテーション	18. 小規模多機能型居宅介護
8. 訪問看護	19. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 訪問入浴介護	20. 居宅介護支援
10. 福祉用具貸与	21. 高齢者支援総合センター
11. 短期入所生活介護(ショートステイ)	

問3 貴事業所の職員についてお答えください。

(1) 貴事業所の職員について、職種別・常勤・非常勤・派遣職員別に実人数及び常勤換算の人数を記入してください。(令和4年8月1日時点)

※1人が複数の資格を持っている場合は、重複して数えてください。ただし、職員総人数は、実際の職員数と同じになるように記入してください(内訳合計と総人数の一致は不要です)。0人は空白でかまいません。

	常勤 (実人数)	非常勤		派遣職員	
		(実人数)	(常勤換算)	(実人数)	(常勤換算)
介護支援専門員	人	人	人	人	人
介護職員	人	人	人	人	人
うち、介護福祉士	人	人	人	人	人
うち、介護職員実務者研修修了者	人	人	人	人	人
うち、ホームヘルパー1級・ 介護職員基礎研修修了者	人	人	人	人	人
うち、介護職員初任者研修修了者 (旧ホームヘルパー2級)	人	人	人	人	人
社会福祉士	人	人	人	人	人
医師	人	人	人	人	人
看護師・准看護師	人	人	人	人	人
保健師	人	人	人	人	人
薬剤師	人	人	人	人	人
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	人	人	人	人	人
機能訓練指導員	人	人	人	人	人
管理栄養士・栄養士	人	人	人	人	人
事務職	人	人	人	人	人
その他()	人	人	人	人	人
職員総人数 常勤:墨田区内_____人、墨田区外_____人 (実人数) 非常勤:墨田区内_____人、墨田区外_____人					

(2) 貴事業所における外国人の雇用人数について記入してください。(令和4年8月1日時点)

1. 在留資格介護に基づく外国人	()人
2. 外国人技能実習制度に基づく外国人	()人
3. 外国人留学生	()人
4. その他	()人

【人材の確保・育成の取組状況についておたずねします】

問4 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 第三者評価の実施 | 9. 事業者間の交流 |
| 2. 専門家、コンサルタントの活用 | 10. 事業者連絡会への出席 |
| 3. ヒヤリハット、苦情事例等の活用・蓄積 | 11. 利用者やその家族への満足度調査の実施 |
| 4. 事業所や法人内部での研修・勉強会 | 12. 介護情報の公表 |
| 5. 手引書の作成と見直し | 13. 先輩による現場への同行(OJT) |
| 6. 外部研修会への出席 | 14. その他() |
| 7. 人材の確保 | 15. 特に行っていない |
| 8. スタッフの資格取得への支援 | |

問5 職員の過不足状況についてお答えください。(1つに○)

この過不足とは事業所が考える適正人数に対する過不足を意味しています。

- | | | | |
|-------------------|------------------|-------|----------|
| 1. 充足している
→問6へ | 2. やや不足
→①～③へ | 3. 不足 | 4. 大いに不足 |
|-------------------|------------------|-------|----------|

①問5で「2. やや不足」、「3. 不足」、「4. 大いに不足」とお答えの事業所におたずねします。
職員は何人不足していますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人以上 |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|

②問5で「2. やや不足」、「3. 不足」、「4. 大いに不足」とお答えの事業所におたずねします。
職員が不足しているのはいつからですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1か月前から | 4. 6か月～1年前から |
| 2. 1か月～3か月前から | 5. 1年以上前から |
| 3. 3か月～6か月前から | |

③問5で「2. やや不足」、「3. 不足」、「4. 大いに不足」とお答えの事業所におたずねします。
職員の不足についてはどのように補っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 既存職員の勤務時間の延長等により補っている | 3. 利用者数の制限を行っている |
| 2. 派遣職員等の人材を活用している | 4. その他() |

問6 貴事業所では、どのような方法で職員を募集していますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 東京都福祉人材センター | 6. 広報紙への掲載 |
| 2. ハローワーク | 7. インターネット求人 |
| 3. 福祉人材バンク | 8. 施設内での募集広告 |
| 4. 学校(福祉専門学校等)との連携 | 9. ホームページの活用 |
| 5. 就職説明会への参加 | 10. その他() |

問7 採用・求人募集について、困っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	5. 資格要件が厳しい
2. 他の産業に比べて、労働条件等がよいくない	6. 求人に対して応募が少ない
3. 介護サービス事業のイメージがよいくない	7. その他()
4. 資力が少なく、募集方法に限られる	8. わからない

問8 貴事業所において、特に確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○)

1. 介護支援専門員	6. 医師	11. 言語聴覚士
2. 介護福祉士	7. 看護師・准看護師	12. 機能訓練指導員
3. 訪問介護員	8. 保健師	13. 事務職
4. 介護職(介護福祉士以外)	9. 理学療法士	14. その他()
5. 社会福祉士	10. 作業療法士	15. 特になし

問9 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。

(すでに実施している…1、実施を検討している…2、実施を検討していない…3、各項目いずれかに○)

	すでに実施 している	実施を 検討 している	実施を 検討 していない
①採用を前提とした資格取得支援の研修(採用前)	1	2	3
②事業所内での採用時研修(新任研修)	1	2	3
③事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け)	1	2	3
④事業所内での定期的な現任研修の実施	1	2	3
⑤事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会	1	2	3
⑥墨田区介護サービス事業者連絡会が実施する研修等への参加を奨励	1	2	3
⑦東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励	1	2	3
⑧その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励	1	2	3
⑨業務として勤務時間中の研修参加を承認	1	2	3
⑩研修受講費用の補助	1	2	3
⑪資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担	1	2	3
⑫資格試験に合格した場合の報奨金	1	2	3

問 10 職員の研修・育成等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 人材育成のための時間がない | 6. 採用時期が別々で効率的な育成ができない |
| 2. 人材育成のための費用に余裕がない | 7. 育成してもすぐに辞めてしまう |
| 3. 職員の自己啓発への意欲が低い | 8. 研修を受講させる人的な余裕がない |
| 4. 事業所内における人材育成の優先順位が低い | 9. その他() |
| 5. 指導できる人材が少ない、または、いない | 10. 特にない |

問 11 職員の早期離職防止や定着促進、勤労意欲の向上のために、どのような取組を行っていますか。
(いくつでも○)

(労働時間・勤務負担軽減)

1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている
2. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
3. 年次有給休暇等の取得を促進している

(職員の健康支援)

4. 職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる
5. 感染症予防対策に取り組んでいる

(いじめ・ハラスメント)

6. いじめやハラスメント等へ対応できる体制を整備している
7. 職員のメンタルヘルス対策に取り組んでいる

(仕事と子育て・介護等の両立支援)

8. 育児・介護等の休暇制度の活用を奨励している
9. 子育て支援(託児所を設ける、保育費用の助成など)や介護支援を行っている
10. 多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など)を活用している

(キャリア形成支援)

11. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている(メンター制度など)
12. キャリアパスを作成している
13. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映している
14. キャリアに応じた給与体系を整備している

(職場風土・環境整備、定着支援)

15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくりを行っている
16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくりを行っている
17. 福利厚生を充実させている

(業務の効率化・負担軽減)

18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化を推進している
19. その他()
20. 特に行っていない

問 12 職員の在籍年数や定着状況等についてお答えください。(令和4年8月1日時点)

(1) 次の職種についての在籍年数別人数をご記入ください。(常勤＋非常勤)

区 分	在職者総数	(内訳) 在籍年数別			
		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5年以上
介護支援専門員	人	人	人	人	人
看護師・准看護師	人	人	人	人	人
訪問介護員	人	人	人	人	人
理学療法士	人	人	人	人	人
作業療法士	人	人	人	人	人

(2) 過去1年間(令和3年8月1日～令和4年7月31日)における次の職種別退職者数(定年退職を除く)をご記入ください。(常勤＋非常勤)

区 分	退職者総数 (定年退職除く)	(内訳) 在籍年数別			
		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5年以上
介護支援専門員	人	人	人	人	人
看護師・准看護師	人	人	人	人	人
訪問介護員	人	人	人	人	人
理学療法士	人	人	人	人	人
作業療法士	人	人	人	人	人

【今後の人材確保・育成についておたずねします】

問 13 貴事業所では、仕事としての介護のイメージアップを図るためには、どのような取組が必要とお考えですか。(いくつでも○)

1. 中学生・高校生に対するボランティア体験やインターンシップの機会の提供
2. 区内企業の退職前の方に対する入門的研修のPRや介護施設などでの職場体験の機会の提供
3. 幼稚園・小中学校のPTAに対する入門的研修のPRや介護施設などでの職場体験の機会の提供
4. 区民向けに介護職員による介護の魅力、やりがいをPRする講演会の実施
5. その他()

問 14 外国人の雇用を検討していますか。(1つに○)

1. すでに雇用している
2. 今は雇用していないが、今後検討したい
3. 検討していない

問 15 外国人を雇用する場合に、課題と考える項目を教えてください。(3つまでに○)

1. コミュニケーション(日本語能力)
2. 身体介護・生活支援の技術
3. 受け入れ制度がわからない
(誰に相談すればよいかわからない)
4. 育成プログラムが未整備
5. 受入コストを捻出できない
6. 文化の違いや生活習慣の違い
7. その他()
8. 特になし

問 16 キャリアアップや人材育成、モチベーション継続のため、どのような支援を望みますか。
(3つまでに○)

1. 区が主催する研修会(実習含む)等を定期的を開催してほしい
2. 研修時の代替職員確保の支援がほしい
3. 事業所間での情報共有や交流イベントなどを区が主催してほしい
4. 保育園に優先的に入園可能にしてほしい
5. 民間賃貸住宅の家賃助成制度を広く支援してほしい
6. その他()

問 17 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、必要と考えられる支援策は何ですか。
(いくつでも○)

1. 離職率改善事例や潜在的有資格者が職場 復帰した事例の紹介	6. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口 の設置
2. 福利厚生の実施支援	7. 資格を必要としない生活支援の担い手 (区民)の育成
3. 処遇改善のための助成	8. 人材育成や研修の専門家の派遣
4. ICTや先進的介護機器(介護ロボット等)の 活用支援(情報共有、業務の効率化など)	9. 人材育成や処遇改善の取組について優秀な 事業者への表彰
5. 区独自の奨学金の導入	10. その他()

問 18 ICTや先進的介護機器(介護ロボット等)の導入状況を教えてください。
(すでに導入している…1、導入を検討している…2、導入を検討していない…3、各項目いずれかに○)
※1項目でも「3」に○がついた場合→問 19 へ ※1項目も「3」に○がつかなかった場合→問 20 へ

		すでに 導入 している	導入を 検討 している	導入を 検討 していない
事務系	①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2	3
	②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2	3
	③IC タグ等による物品購入効率化技術	1	2	3
	④請求業務等の事務効率化技術	1	2	3
	⑤医療介護連携ソフト等を用いた連携技術	1	2	3
技術系	⑥移乗介助機器(パワースーツや移乗アシストロボットなど)	1	2	3
	⑦移動支援機器(アシスト歩行支援機器など)	1	2	3
	⑧見守り支援機器(睡眠、バイタル、危険姿勢など検知機能)	1	2	3

問 19 問 18 で1項目でも「3 導入を検討していない」に○をつけた事業所におたずねします。ICT等の
導入を検討する場合、必要な要素は何ですか。(いくつでも○)

1. 財政的支援	4. 業務フローへの ICT 導入方法支援
2. 相談窓口	5. その他()
3. 事例と費用対効果の紹介	6. わからない

【医療と介護の連携についておたずねします】

問 20 区内の在宅療養者への医療と介護は、連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携していると思う 2. ある程度連携していると思う 3. 連携が不十分であると思う 4. ほとんど連携していないと思う 5. わからない →問21へ	} ①へ } ②へ
① 問 20 で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします。 どのような方法で連携していると思いますか。(いくつでも○)	
1. 墨田区標準様式多職種連携情報シート 2. 高齢者支援総合センターが行う地域ケア会議 3. サービス担当者会議 4. 病院等が行うカンファレンス	5. 電話連絡 6. 訪問して面会 7. その他() 8. その他()
② 問 20 で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします。 そのように思う理由は何ですか。(いくつでも○)	
1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない 2. お互いに多忙で連絡が取れない 3. 個人情報の保護の観点から情報が共有されない 4. 交流の場がない	5. 誰と連絡を取ればよいのかわからない 6. 医学知識や医療制度がわからない 7. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している 8. その他()

【災害への備えについておたずねします】

問 21 大規模災害が発生した際の備えとして、事業者としての計画や方針(BCP含む)を策定していますか。(1つに○)

1. 策定している 2. 今後策定する予定である	3. 策定する予定はない 4. わからない
-----------------------------	--------------------------

問 22 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)

1. 自治会・町会と防災協定を結んでいる 2. 自治会・町会と合同で避難訓練を行っている 3. 地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている 4. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている 5. 事業所の利用者だけでなく、地域のためにも備蓄をしている 6. その他()

【ハラスメント対策についておたずねします】

問 23 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(いくつでも○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修参加者の情報を全職員で共有している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている
4. 他施設での事例等を職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立てている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他()

問 24 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(いくつでも○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法等を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他()

【地域包括ケアのビジョンについておたずねします】

問 25 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画では、「高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる」を基本理念としています。この基本理念を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 地域の支え合いのしくみづくり | 6. 地域の福祉団体等での就労機会の提供 |
| 2. 地域の趣味やスポーツの会の情報提供 | 7. 空き店舗等を活用した活動拠点の支援 |
| 3. 地域のサロンや健康教室の情報提供 | 8. 区の施設の夜間・休日の解放 |
| 4. PC 教室や生涯学習の開催 | 9. その他() |
| 5. 就労や軽作業の仲介・あっせん | 10. 特になし |

問 26 今後、高齢者や障がい者、子どもをはじめとするすべての区民が住み慣れた地域(住宅)での生活を続けるために、地域において特に必要だと思う生活支援(インフォーマルサービス※)はどういったものですか。(3つまで○)

※インフォーマルサービスとは

ここでは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援(フォーマルサービス)以外の支援をインフォーマルサービスと呼びます。具体的には、家族、近隣、友人、民生委員、ボランティア、非営利団体(NPO)などの制度に基づかない援助などが挙げられます。

- | | |
|---|--|
| 1. 日常的な掃除、洗濯、炊事等の家事
2. ごみ出し
3. 食材や日用品等の買い物代行
4. 草取りや水やり等の庭の手入れ
5. 声かけ、見守り等による安否確認
6. 移送ドライバー、通院等の外出支援
7. 区役所や銀行、郵便局への付き添い | 8. 認知症予防の脳トレ
9. 健康体操や筋力維持のための運動指導
10. サロンや地域カフェなど交流の場
11. 弁当や食材配達等の配食
12. 生活に関する相談・話し相手
13. 利用者家族等への助言、支援
14. その他() |
|---|--|

問 27 貴事業所の地域との関わりについて、下記のことを行っているか教えてください。

(行っている…1、今後行いたい…2、行う予定はない…3、各項目いずれかに○)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一時的に休止している場合は、「行っている」を選択してください。

	行っている	今後行いたい	行う予定はない
1. 利用者やその家族が利用者宅の近所にある通いの場や交流の場に参加できるよう支援している	1	2	3
2. 事業所が所在する地域の行事・イベント等に参加している(ブース出店など)	1	2	3
3. 事業所内に無料の相談窓口を開設している	1	2	3
4. 事業所内または近隣に地域交流スペースを設置して、地域住民に開放している	1	2	3
5. 地域の自治組織やまちづくり組織等に、スタッフや支援者として参加している	1	2	3

【個人情報の取扱いについておたずねします】

問 28 個人情報の取扱いについて、実施しているものを教えてください。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. ISO27001、ISMS、P マークなどの第三者機関からの認証を受けている |
| 2. 個人情報取扱いに関する基本方針を定め、社内ルールを整備している |
| 3. 個人情報取扱責任者を配置し、安全に取り扱うための体制を整備している |
| 4. 従業員に個人データの適正な取扱いを周知徹底するとともに、適切な教育を行っている |
| 5. 個人情報を取り扱う区域、機器、電子媒体を管理し、漏洩しないための対策を実施している |
| 6. 個人情報保護についての誓約書等の書面を職員の採用時に取り交わしている |
| 7. その他() |

【その他】

問 29 墨田区の介護人材確保を目的とした助成事業(※)を利用したことがありますか。(1つに○)

※介護職員初任者研修受講料の助成事業、実務者研修受講料の助成事業、介護福祉士資格取得支援助成事業
(各事業の詳細は、墨田区ホームページ等をご参照ください。)

- | | | |
|--------------|---------------------|-----------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことはない | 3. 知らなかった |
|--------------|---------------------|-----------|

問 30 区主催による事業者向けの研修について、希望するテーマがあれば教えてください。

問 31 最後に、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちづくりのために、高齢者福祉や介護保険などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうか、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手貼付済)に入れて、

8月30日(火)までに お近くの郵便ポストに投函してください。